

ロタウイルス・おたふくかぜ・三種混合 予防接種費用を助成します

河南町では、ワクチンで防げる病気を予防し、大切な子どもの命と健康を守るために任意の予防接種の助成を行います。任意接種のため接種の努力義務はありません。

予防接種の種類	ロタウイルスワクチン		おたふくかぜ ワクチン	三種混合 ワクチン
	1価ワクチン (ロタリックス)	5価ワクチン (ロタテック)		
対象者・回数	生後2か月から24週までの乳児に2回まで(ただし、初回接種を生後14週6日までに受けた者に限る)	生後2か月から32週までの乳児に3回まで(ただし、初回接種を生後14週6日までに受けた者に限る)	1歳から小学校就学前までに2回まで(ただし2回目は就学前年に限る。)標準的には、1歳早期に1回目、就学前年の4月～6月に2回目を接種する。	①小学校就学前の1年間にある者で、定期接種の三種混合又は四種混合ワクチンの一期追加接種後6か月以上経過した者 ②11歳～13歳未満で、定期接種の二種混合ワクチンを未接種の者(定期の二種混合ワクチンに代えて三種混合ワクチンを接種する場合に限る)
	どちらか一方のワクチンのみを助成します。		2回目は就学前年に受けてください。	各1回 ②で定期接種の二種混合ワクチンを接種した場合は助成できません。
	既に接種したことがある人は、その回数分を除きます。			
接種機関	富田林医師会加入の指定医療機関			
1回あたりの助成額	ロタウイルスワクチン・おたふくかぜワクチン		全額助成	
	三種混合ワクチン		1回あたり上限額5,000円	
手続方法 (接種後)	<ul style="list-style-type: none"> ・指定医療機関の窓口で接種費用を支払った後、「任意予防接種費用助成申請書兼請求書」に次の必要書類を添えて「健康づくり推進課」へ申請して下さい。 ・①母子健康手帳 ②領収書(ワクチン名を明記したもの) ③印鑑 ④振込先が確認できる通帳やカードなどを持参し申請してください。 ・接種された日からかならず1年以内に申請してください。 			
健康被害 救済措置	重篤な健康被害が起こり、国の審議会では予防接種によると認定された場合は、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法に基づく救済を受けることができます。また、河南町予防接種事故災害補償規則に準拠して対応します。			

ロタウイルスワクチン

- ・ロタウイルスは子どものウイルス性胃腸炎の原因となるウイルスです。
- ・5歳までにほとんどの子どもが感染を経験しますが、重症化しやすく脱水症やけいれんのために入院することも多い病気です。
- ・対象週数を超えてロタウイルスワクチンを接種すると、副反応である腸重積症が起こりやすくなりますので、接種できる週数がこまかく決められています。

三種混合ワクチン

- ・ジフテリア、破傷風、百日せきの混合ワクチンです。
- ・百日せきは感染力が非常に強く、混合ワクチンを規定の回数接種していても発症することがあります。また、新生児や乳幼児がかかると重症化しやすいため、家族間での感染予防が重要とされています。
- ・百日せきの予防を目的に、抗体価が低下する就学前1年間と、二種混合ワクチンの代わりに三種混合ワクチンの接種が、日本小児科学会において推奨されています。